

(様式1)

平成29年度大正地区センター維持管理計画概要書

指定管理者 公益社団法人とつか区民活動支援協会

項 目	内 容
1 施設の維持管理体制	館長 副館長（2名） スタッフ（利用受付等 12名） 作業スタッフ（2名）
2 施設の維持管理に関する考え方	設備の保守管理 館を効率的かつ良好な状態で利用者に提供できるように、空調設備・消防設備・エレベーター等の諸設備は専門業者への委託し、日常又は定期的に保守・点検を行っていきます。
	施設の清掃 日常清掃は作業スタッフが毎日行い、各部屋内の日常清掃等は職員・スタッフが行います。 部屋利用が無い時間には、備品等の清掃など普段できないところの清掃を定期的の実施します。 また、年間をとおしての清掃計画に基づき、業者による清掃により美化に努めます。
	施設の点検 基本的に上記設備の保守管理のとおり専門業者に委託しますが、不具合等は、スタッフ等からの日常点検報告や受託業者の報告等で確認され次第速やかに対応しています。
	植栽の維持管理等その他の維持 基本的に、上記設備の保守管理のとおりですが、次の部分は、スタッフ等が対応します。 館内の観葉植物はスタッフが管理、外構の植栽は剪定教室の参加者や職員及びスタッフが適宜剪定します。
3 施設の安全管理に関する考え方	災害時の緊急対応マニュアル策定、救命救急研修の実施（AEDの操作法も含む）など、日頃から緊急時に対応できるような体制を整えています。 消防訓練も消火器の確認、緊急放送や誘導の仕方の研修と実態に即した研修を行っています。 事故発生抑止には、掲示等により利用者に注意を呼びかけたり、内部的にはヒヤリ・ハット集をもとに事故発生防止や早期対応の研修を行います。

※施設の維持管理の内容がわかる各保守管理等の仕様書等を添付してください。

事業計画書様式2-1

平成29年度 大正地区センター 指定管理者事業計画書			
団体名	公益社団法人とつか区民活動支援協会		
代表者名	理事長 原 一男	担当者	■■■■■
団体所在地	横浜市戸塚区戸塚町127		
電話番号	045-865-3946	FAX番号	045-865-3949

1 平成29年度の管理運営に関する基本方針について

- (1) 運営の基本方針
- (2) 予算執行の基本的な考え方
- (3) サービスのあり方について

(1) 運営の基本方針

地区センターは地域の住民が自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、講演会、研修会、サークル活動などを通じて相互交流を深めることを目的としており、地域コミュニティの醸成や地域の連帯意識の形成を図れるよう運営していきます。また、少子高齢化や核家族化、共働きの増加等といった社会状況の変化の中で生じる様々な今日的な課題の解決に向けて行政や地域団体等とともに取り組み、地域の方々が交流し自主的に活動することができる環境を整えていきます。

(2) 予算執行の基本的な考え方

ア 収入計画について

- a 安定的な運営や効果的な活動を実施していくために必要な収入を適正に確保します。
- b 公益目的事業においては収支相償に基づき支出に見合った収入を確保します。
- c 利用料金収入、自主事業収入、雑収入の増収に努めます。
- d 収益事業の利益の50%は公益目的事業の収入に繰り入れます。
- e 自主事業への助成金や企業協賛、公益法人の利点を生かして寄付金の導入に努めます。

イ 支出計画について

- a 安定的な運営及び効果的な活動に不可欠な経費節減に努めながら適切に支出します。
- b 常に、コストパフォーマンスを意識し効率的かつ効果的な支出に努めます。
- c 法令に違反することなく必要な経費及び租税公課等を適切に支出します。
- d 契約に際しては市内中小企業を優先に、公平・公正に競争性を導入して遂行します。

(3) サービスのあり方について

大正地区センターは、区民の生涯学習や地域活動の支援、様々な交流事業等を通して、区の施策を推進し具現化する場と位置づけています。特に、子育て支援の場、施設内スペースを活用した青少年健全育成のための居場所づくりが求められています。この目標達成に向けて、「誰もが気軽に集える地域の居場所」づくりを目指し、次の4項目を重点に取り組んでいきます。

- ① 乳幼児から高齢者まで誰もが安心して、快適かつ気軽に交流できる場を提供します
- ② ニーズや時代に即した地域交流事業や生涯学習支援、地域活動支援等を展開します。
- ③ 地域の住民や様々なリソースとの連携・共創により事業を推進します。
- ④ なお、PDCAサイクルにより業務の見直し、改善に努めます。

2 平成29年度の施設の運營業務について

- (1) 利用者サービスの提供
- (2) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方
- (3) 利用者会議の開催の考え方

(1) 利用者サービスの提供

① 施設の利用に関する取扱いについて

- a 利用方法等の電話や窓口での問合せに対し、わかりやすい対応・説明を心掛けます。
- b パソコンで一括管理する予約受付システムによる正確・迅速な予約処理と応当日抽選は公開し行います。
- c 利用案内書とホームページの充実により、わかり易い利用方法を提示します。

② 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

- a きめ細かなサークル活動・講座指導者の情報提供
- b 高性能カラー印刷機の活用促進（パンフレット作成等に必要なアドバイスなど）
- c インターネット環境の整備・サークル等ホームページ作成講座
- d サークル体験会（活動を紹介し、活性化するための「サークル体験会」を開催します。）
- e 物品の貸出し

(2) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方

- a ご意見箱の常設やその時点の課題に沿ったアンケート、自主事業時のアンケートなどにより、広く意見、ニーズ、苦情等を把握し、施設の運営や事業の企画に反映します。
- b 頂いた意見等に対する返事や回答を館内に掲示するとともに、挨拶や声掛けなどで利用者とのコミュニケーションを積極的に図り、風通しの良い関係を構築します。
- c 地域団体や利用者代表で組織する運営委員会や利用者会議の開催及び自治会・町内会の行事等への参加などにより地域のニーズや特性の把握に努め、運営に反映します。
- d 日常的なお茶会である利用者井戸端会議（仮称）を開催し利用者の生の声の把握に努めます。

(3) 利用者会議の開催の考え方

利用者会議を毎年2回実施し、様々なご意見、ご要望をお聞きして施設運営に反映させるとともに、結果を必ず掲示します。また、利用者からのご意見、苦情については掲示板を設け、発信者が特定されぬ配慮のもとにご意見とそれに対する返答を並列掲示し、改善に関しては速やかに行い改善後の状況も掲示等で公開します。

<p>3 平成29年度の施設の経営について</p> <p>(1) 利用者数の目標、利用料金収入の計画</p> <p>(2) その他事業収入等（自動販売機、印刷機等、カラオケ）の計画</p> <p>(3) 管理経費の節減計画</p>
<p>(1) 利用者数の目標、利用料金収入の計画</p> <p>平成29年度の利用者数は、27年度の見込み93,000人より1,000人増の94,000人を目標とします。（平成28年度は体育室天井修繕に伴う利用者減となり比較対象を平成27年度とした）また、利用料金収入については、430万円を目標とします。利用料金収入増に向けて、次の取り組みを実施します。</p> <p>a 登録団体や近隣の地域の団体に積極的に利用を進めたり、近隣施設との協働事業の実施を働きかけたりするなど稼働率の向上を図ります。</p> <p>b 自主事業参加者によるサークル設立が期待できる事業を展開し稼働率向上につなげます。</p> <p>c きめ細かに部屋の空き情報を提供することで利用促進を図ります。</p> <p>d 賃借料等の助成金が支給されている地域の団体に活動場所を積極的に提供します。</p> <p>e 引き続き、部屋の分割利用や当日申込の1時間単位利用など柔軟な対応をします。</p> <p>(2) その他事業収入等（自動販売機、印刷機等、カラオケ）の計画</p> <p>高性能カラー印刷機の活用による収入増などにより、今期は150万円の収入を見込みます。</p> <p>a 公益法人のメリットを生かし寄付金を募集します。</p> <p>b 自主事業や研修等に積極的に助成金や企業協賛を導入します。</p> <p>c 最新型高性能カラー印刷機を導入し、様々な付加価値を加えて印刷代収入を向上させます。</p> <p>(3) 管理経費の節減計画</p> <p>a <u>光熱水費</u> 特定規模電気事業者からの電力部分供給により電気代を節減します。空調機の適切な温度設定や換気、こまめな消灯、LEDなどの省エネ器具の交換に努めます。機器の日頃の清掃・メンテナンスを適切に実施し、効率的な運転状態を維持します。洗面所の自動水栓化を進め、無駄な水の使用を抑制しています。</p> <p>b <u>事務費</u> 消耗品・備品については可能な限り協会での他の管理施設の分も含めて一括発注します。備品は、長寿命化のために日頃からのこまめなメンテナンスに心掛けます。</p> <p>d <u>管理費</u> 各館共通の設備保守や清掃等の管理契約は可能な範囲で事務局が一括・長期契約をします。契約に際しては入札や2社以上からの見積もり徴収など競争性を導入します。修繕箇所の早期発見・早期対応で修繕費がかさむ前に善処していきます。</p> <p>e <u>自主事業</u> 原則として材料費・講師謝金・傷害保険料を参加者に負担していただきます。より多くの方が参加できるよう、講師謝金の一部を当方で負担する場合があります。事業の企画にあたりCSRなどを活用し、コスト削減を図ります。</p>

4 平成 29 年度の事業の実施について

- (1) 自主事業の基本的な考え方
- (2) 自主事業別計画 (様式 3、4 に記載してください)
- (3) その他事業の実施

(1) 自主事業の基本的な考え方

- a 地域住民の参加により相互交流を深め、新たな地域コミュニティやグループを形成していただくことを目的に自主事業を実施します。
- b 社会状況の変化により地域ニーズや課題も多様化しており、そのため地域の特性やニーズを見極めつつ、生涯学習や健康を中心とした事業に加えて、子育て支援や青少年の居場所づくり、困難を抱える青少年への支援など今日的な課題の解決に向けても取り組みます。
- c 自主事業の実施にあたっては地域の人材や団体等との連携を基本としますが、今後は CSR なども活用し、コスト削減を図りつつ幅広くニーズに応えていきます。

また、従来の健康づくり、生涯学習支援に加えて、今後は次の視点から取り組みます。

a 地域の活力づくり支援事業の展開

地域で活動中の高齢者の団体との連携を通して、地域の輪を広げ地域の活性化や生涯学習を支援します。スポーツ推進員や青少年指導員、高齢者講師による世代間交流事業を充実します。

b 自主的サークルの設立が期待できる事業の実施

自主事業の講座終了後に、参加者によるサークルが立ち上がり、自主的に運営されることにより、地域コミュニティの形成や地区センターの施設利用の促進が期待できます。

c 子育て支援事業の実施

育児不安の解消や保護者同士の交流促進のため、区や近隣の保育園、子育て支援機関と連携し支援事業を実施します。また、保育付き事業や親子で参加できる事業も充実します。

d 自然豊かで安全に過ごすための取組

区民全体の願いでもある、美しい環境を未来に引き継ぐための講座や甚大な被害をもたらす自然災害への備えや悪徳商法などから身を守る講座を開催します。

(2) 自主事業別計画 (様式 3、4 に記載)

(3) その他の事業の実施

「地区センターまつり」は地元町内会・自治会、青少年指導員、地元小中学校等との協力体制をより一層深めて、利用サークルの発表会という枠を超えた来館者皆様が楽しめる「地域のおまつり」を目指し、企画運営していきます。

5 平成29年度の施設の運営体制等について

- (1) 職員の配置計画
- (2) 緊急時の連絡体制

(1) 職員の配置計画

(ア) 職員

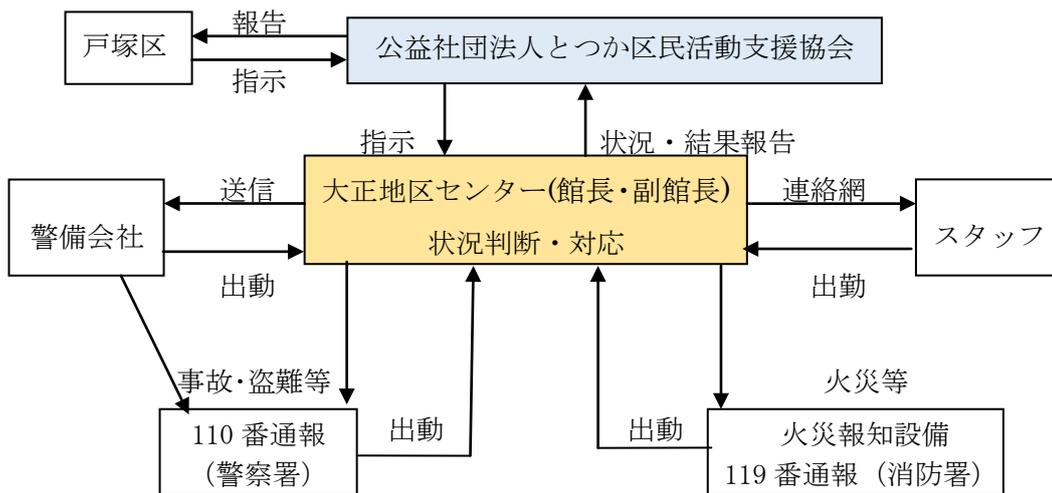
職務	有する資格等
館長	防火管理者、安全衛生推進者
副館長	
副館長	

(イ) スタッフ

職務	人数	内訳
受付スタッフ	12名	午前番(4名)、午後番(4名) 夜番(4名)
作業スタッフ	2名	

(2) 緊急時の連絡体制

緊急時に迅速・的確な対応ができるように、職員・スタッフ、関連機関や業者等との緊急連絡網を構築します。また、震度5強以上の地震の場合には、職員は地区センターに参集し、利用者の安全確認や施設の状況を把握し、必要に応じて帰宅困難者の一時滞在施設や医療救護隊の参集拠点等の開設に協力します。



横浜市大正地区センター自主事業計画書

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額				
	②募集人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費
(ア)地域の活力づくり支援事業の展開						
和綴じでつくるオリジナル ノート (3回)	一般					
	12人					
	2,500円	24,000	0	24,000	15,000	9,000
千支の編みぐるみ (1回)	一般					
	20人					
	1,200円	24,000	6,000	18,000	10,000	14,000
【青指と共催】 エコクラフト～コースター・かご～ (1回)	小中学生					
	20人					
	100円(青指が徴収)	5,000	5,000	0	5,000	0
【青指と共催】オリジナル 門松～君の手で新年をお迎 え!～ (1回)	小中学生					
	20人					
	100円(青指が徴収)	5,000	5,000	0	5,000	0
【青指と共催】 うどん作り (1回)	小学生					
	20人					
	100円(青指が徴収)	5,000	5,000	0	5,000	0
大正地区センター夏まつり 8月18日 午後15時より	幼児～一般					
	500人					
	無料	0	0	0	0	0
大正地区センターまつり 12月2日・3日 2日間	幼児～一般					
	2,000人					
	無料	0	0	0	0	0
自分で作る 『お正月飾り』 (1回)	小学生・一般					
	10人					
	2,800円	35,000	7,000	28,000	5,000	30,000
ロビーコンサート (クラシックギター) (2回)	一般					
	60人					
	無料	0	0	0	0	0
大正地区バドミントン 愛好会会長杯大会 (1回)	一般					
	60人					
		0	0	0	0	0
大正地区バドミントン大会 館長杯 (1回)	一般					
	60人					
		5,000	5,000	0	0	5,000
大正地区男女混合卓球大会 (1回)	一般					
	100人					
		0	0	0	0	0
大正地区混合ダブルス卓球 大会館長杯 (1回)	一般					
	120人					
		5,000	5,000	0	0	5,000

横浜市大正地区センター自主事業計画書

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
(イ) 自主的サークルの設立が期待できる事業の実施							
はじめての詩吟 (4回)	一般						
	15人						
	2,000円	30,000	10,000	20,000	25,000	5,000	0
カラオケ (ヴォーカルレッスン) (4回)	一般						
	15人						
	2000円	21,000	-9,000	30,000	20,000	1,000	0
書道をたしなむ～楷書・行 書・草書～ (3回)	一般						
	10人						
	1,500円	22,000	7,000	15,000	15,000	7,000	0
手軽にできる はじめてのパン (4回)	一般						
	10人						
	5,200円	52,000	0	52,000	20,000	32,000	0
(ウ) 子育て支援事業の実施							
おはなしワールド (12回)	幼児親子						
	120人						
	無料	37,000	37,000	0	36,000	1,000	0
遊び場・しゃべり場・ほっ とタイム (毎週)	幼児親子						
	300人						
	無料	0	0	0	0	0	0
大正エリア おしゃべりひろば (毎週2回開催)	幼児親子						
	300人						
	無料	1,000,000	1,000,000	0	0	0	1,000,000
ニコニコベビーボックス (4回×2)	0歳児親子 ハイハイ前・後						
	各10組(各5組)						
	1,200円	54,400	30,400	24,000	48,000	6,400	0
にじみ絵 (1回)	2歳児親子						
	各10組						
	2,280円	33,100	10,300	22,800	5,000	28,100	0
DANCE! (5回×1)	小中学生						
	15人						
	2,500円	25,000	0	25,000	25,000	0	0
親子で楽しくリトミック (4回×2)	2歳児親子						
	各10組(20組*年2回)						
	1,400円	54,000	-2,000	56,000	48,000	6,000	0
夏休みのお昼ごはん (1回)	小学生						
	14人						
	1,200円	18,000	9,700	8,300	9,000	9,000	0
夏休み親子でクッキング (日清製粉協力) (1回)	小中学生の親子						
	12組						
	1,000円	10,000	-2,000	12,000	0	10,000	0
ふしぎ発見理科ひろば (1回×2)	小中学生						
	20人						
	500円	18,000	10,000	8,000	10,000	8,000	0

横浜市大正地区センター自主事業計画書

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額				
	②募集人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費
(エ) 自然豊かで安全に過ごすための取組						
老前整理 (1回)	中高齢者					
	30人					
	無料	0	0	0	0	0
その他						
卓球教室 前期 (5回)	一般					
	50人					
	1,800円	88,000	-12,000	100,000	70,000	18,000
卓球教室 後期 (5回)	一般					
	50人					
	1,800円	88,000	-12,000	100,000	70,000	18,000
”基礎に還る” バドミントン教室 前期 (6回)	一般					
	30人					
	2,500円	50,000	-43,000	93,000	30,000	20,000
”基礎に還る” バドミントン教室 後期 (6回)	一般					
	30人					
	2,500円	50,000	-43,000	93,000	30,000	20,000
エアロビクスで健康アップ (5回)	一般					
	15人					
	2,000円	30,000	0	30,000	30,000	0
ランプシェード (1回)	一般					
	15人					
	2,000円	16,000	0	16,000	6,000	10,000
音楽講座 (6回)	一般					
	10人					
	3,600円	38,000	20,000	18,000	36,000	2,000
男の料理教室 前期 (6回)	中高齢者					
	16人					
	8,200円	138,000	6,800	131,200	48,000	90,000
男の料理教室 後期 (6回)	中高齢者					
	16人					
	8,200円	138,000	6,800	131,200	48,000	90,000
葉膳 (3回)	一般					
	10人					
	3,900円	48,000	9,000	39,000	18,000	30,000
水彩画 (3回)	一般					
	10人					
	2,000円	23,000	3,000	20,000	18,000	5,000
クリスマスのお菓子 (1回)	一般					
	16人					
	1,500円	30,000	6,000	24,000	10,000	20,000
フランス料理 (1回)	一般					
	10人					
	3,000円	30,000	0	30,000	6,000	24,000

横浜市大正地区センター自主事業計画書

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
トールペイント～Welcomeボード ～ (1回)	一般						
	10人						
	2,800円	35,000	7,000	28,000	5,000	30,000	0
和布でつくるつるし飾り (3回)	一般						
	15人						
	2,700円	34,500	-6,000	40,500	15,000	19,500	0
シニアの レベルアップパソコン (4回×2)	一般						
	15人						
	3,000円	130,000	0	130,000	112,000	18,000	0
クラフトバンド講座 (1回)	一般						
	20人						
	2,000円	31,000	11,000	20,000	6,000	25,000	0
庭木すっきり剪定教室 (3回×2)	中高齢者						
	20人						
	2,500円	50,000	0	50,000	30,000	20,000	0
サークル体験会 (1回)	一般						
	80人						
	無料	0	0	0	0	0	0
合計		2,530,000	1,093,000	1,437,000	894,000	636,000	1,000,000

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

横浜市大正地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

(ア) 地域の活力づくり支援事業の展開		
事業名	目的・内容	実施時期・回数
和綴じで作る オリジナルノート 	【目的】 和綴じの技法を身につけて、和綴じを生活の中に取り入れる手法を学びます。 【内容】 好きな布や紙を表紙にしたノートを作ります。また、手紙を冊子にしたり、ご朱印帳、フォトブックへの応用も学びます。	4月 (3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
干支の編みぐるみ 	【目的】 大正地区で活動している高齢者の団体との共催です。地域の力を生かして事業を行うことで、地域の輪を広げ、地域の為にがんばっている団体を支援します。 【内容】 干支(犬)のあみぐるみを作ります。地域の団体「竹の会」が参加者とコミュニケーションをとりながら作品を作ります。	12月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【青指と共催】 エコクラフト～コースター・かご～ 	【目的】 地元の青少年指導員の方との共催です。工作講座では、今年はエコクラフトを使ったコースターやかごを作ります。地域の青少年指導員と子どもセンターを結ぶ場を作りたいと思います。 【内容】 エコクラフトを使い、オリジナルのコースターやかごを作ります。また、地元の青少年指導員、親子とのコミュニケーションの場をつくります。	6月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【青指と共催】 オリジナル門松 ～君の手で新年をお迎え！～ 	【目的】 地元の青少年指導員と共催で行う門松づくりの工作教室です。 【内容】 門松を手作りし新たな年をお迎えします。	12月 (1回)

横浜市大正地区センター自主事業別計画書(単表)

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【青指と共催】 うどん作り 	【目的】 料理を通して仲間とうどんを作る楽しみ。自分の作ったものを食べる喜びを子ども達に感じてもらいたい。また協力して、片付け方などを覚えます。 【内容】 食育。うどんをうちます。自分でつくったものを自分で食べます。	1月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大正地区センター 夏まつり 	【目的】 地域の方との交流を深め、利用者、サークルと協力し夏祭りを行います。 【内容】 小さい子ども向けにヨーヨーやお菓子のつかみ取りなどを企画したり、サークル盆踊り教室の先生にお願いをして盆踊りなどを皆さんと踊ります。他にもマジックショーやはまちゃん体操などを行う予定です。	8月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大正地区センター 祭り 	【目的】 日頃のサークル活動の成果の発表の場です。 【内容】 日頃のサークル活動の成果を地区センターで発表してもらいます。展示や演芸などがあります。	12月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自分で作る 『お正月飾り』 	【目的】 日本の伝統文化のお正月飾りをつくることで、飾りや年中行事の歴史を学びます。 【内容】 玄関に飾るお正月飾りを作ります。	12月 (1回)

横浜市大正地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ロビーコンサート (クラシック ギター) 	<p>【目的】 日頃、地元の老人ホームや地区センターなど、シニア層を対象にコンサートやイベントを行っている「ハーモニーグリーン」がロビーコンサートを行います。</p> <p>【内容】 来館者にクラシックギターの生演奏を楽しんでもらいます。</p>	7月、12月 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【共催事業】 大正地区 バドミントン大会 	<p>【目的】 バドミントンサークルとの共催事業のバドミントン大会です。地区センターで活動する団体、個人利用者間の交流を促進し、スポーツ振興につなげます。</p> <p>【内容】 バドミントンの愛好者の多くの人に参加していただいています。</p>	5月、10月 (2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【共催事業】 大正地区 男女混合卓球大会 	<p>【目的】 卓球サークルとの共催事業の男女混合卓球大会です。地区センターで活動する団体、個人利用者間の交流を促進し、スポーツ振興につなげます。</p> <p>【内容】 卓球愛好者の多くの方に参加していただきます。</p>	6月、11月 (2回)

(イ) 自主的サークルの設立が期待できる事業の実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はじめての詩吟 	<p>【目的】 詩吟の基礎を習得してもらいます。</p> <p>【内容】 詩吟と聞くと難しそうですが、吟じる楽しさを知ってもらい、詩吟独特の発生の基礎を学びます。声を出して健康UPをはかりましょう。</p>	11月 (4回)

横浜市大正地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カラオケ (ヴォーカル レッスン) 	【目的】 現代的な発声方法を学んで歌の歌い方を学びます。 【内容】 ・昭和の歌と近代の歌の違いの理解 ・会話の声と歌声の違いを理解 ・表現力をつけて歌う、腹式で歌うなどを学びます。	7月 (4回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書道をたしなむ～楷 書・行書・草書～ 	【目的】 書道をはじめてみましょう。まずは基礎の楷書、行書、草書を習ってみましょう。きれいな字で年賀状やご祝儀などの宛名を書けるようになりましょう。 【内容】 基礎の楷書、行書、草書を体験してみましょう。	7月 (3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手軽にできる はじめてのパン 	【目的】 パンを自分でつくってみましょう。上手にできたら家庭でも手作りパンを振る舞ってみましょう。 【内容】 4種類のパンを4回に分けて作ります。バリエーションを増やして家庭でもつくってみましょう。	12月 (4回)

(ウ) 子育て支援事業の実施		
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おはなしワールド 	【目的】 読み聞かせを通して、乳幼児の感性や知識、智恵に働きかけ、乳幼児の成長のお手伝いをします。また、保護者の方にも読み方、興味の引き方、未知の絵本との出会いを提供します。 【内容】 ・絵本の読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居 ・七夕やクリスマス等の季節に合った歌やマジック	4月～3月 12回

横浜市大正地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遊び場 しゃべり場 ほっとタイム 	【目的】 子育てで悩みを抱えている母親や子どもたちのコミュニケーションの場などを提供します。育児に対して悩みを話し合える場づくりとしても、また母親同士のコミュニケーションの場を提供します。 【内容】 おもちゃで遊んだり、おしゃべりをしたり子育ての相談もできます。	4月～3月 54回
大正エリア おしゃべりひろば 	【目的】 未就学児の親子やプレママが、おしゃべりをしたり、遊んだりゆったりと過ごしていただきます。また、同世代の子供を持つ親が情報交換や育児の悩みを話し合える場です。 【内容】 おもちゃや絵本を読んだり、保健師さんやベビーマッサージ等のイベントもあります。未就学児の子供をもつ親子やプレママの情報交換の場、交流の場を提供します。	毎週2回
ニコニコ ベビーピクス (0歳児) 	【目的】 0歳児と保護者とのスキンシップを深めることで、お互いの愛情を高めます。また、同世代の子供を持つ保護者同士が知り合い、情報交換や育児に対しての悩みを話し合える場です。 【内容】 0歳児対象。はいはい前とはいはい後に分かれ、音楽に合わせてスキンシップしながら体を動かします。	5月・12月 (各4回)
にじみ絵 	【目的】 親子で楽しめるおはなし会です。 【内容】 講師が用意したおはなしを年に4回、親子で楽しめます。	7月 (1回)

横浜市大正地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
DANCE! 	【目的】 HipHopダンスを習ってみよう。 【内容】 小学生対象のダンス教室。リズムに合わせて体を動かしてみよう。	8月・9月 (5回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で楽しくリトミック (1～3歳児) 	【目的】 音楽に合わせて、フープやボール等も使って元気に体を動かすことで、子供の持っている能力を引き出すお手伝いをします。 【内容】 1歳児と2～3歳児に分かれ、親子で音楽に合わせて思い切り体を動かしてもらいます。挨拶や他のおともだちとのふれあいも通じての仲間づくりも行います。	5月・11月 (各4回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休みのお昼ごはん 	【目的】 同い年の参加者と料理を楽しむための講座です。後片付けの方法も学びます。 【内容】 小学生が自分で調理することで、食事を作ってくれる人に感謝し、食べ物に感謝できるようにします。また、みんなで食事を作る楽しさを知ります。	7月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み 親子でクッキング 	【目的】 親子で料理を楽しんでいただくための講座です。 【内容】 子供が好きなメニューの作り方をグループで協力して作ります。また、一緒に食べることで、個食が増えている生活の中で、みんなで食べる楽しさを再確認する。日清製粉協力予定です。	8月 (1回)

横浜市大正地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふしぎ発見 理科ひろば 	【目的】 夏休み・冬休みの工作教室です。理科実験を通じて不思議なことに興味を持ってもらいます。また他の仲間とグループになって行うことで、仲間と一緒に何かをする体験をし、協力することの大切さを学んでいきます。 【内容】 日立理科クラブとの共催で行う、理科の実験教室です。簡単な実験を通して、子供たちの好奇心と、協調性を養います。	8月 12月 (各1回)

(エ) 自然豊かで安全に過ごすための取組

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老前整理 	【目的】 2010年、2012年の新語・流行語大賞にノミネートされた「終活」は、ブームから「文化」として定着しつつあります。超高齢化社会の進行により、全ての生活者が直面する課題として、今後の社会のインフラとして正確な情報がますます必要になるでしょう。 【内容】 老前整理って何だろう？エンディングノートを活用して、老前整理を学んでみましょう。	2月 (1回)

その他

事業名	目的・内容	実施時期・回数
卓球教室 	【目的】 初心者には上達する喜びを感じ運動を長く続けていくきっかけにし、上級者はもっと腕をみがくための教室です。 【内容】 大正卓球同好会がコーチとなり、初心者から上級者のレベルにあわせて指導します。	4月～9月 10月～3月 (各5回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
”基礎に還る” バドミントン教室 後期 	【目的】 バドミントンを通しての仲間づくりと、それぞれの技術向上を目指します。 【内容】 コーチが、それぞれのレベルに合わせて指導します。	4月～9月 10月～3月 (各6回)

横浜市大正地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エアロビクスで健康アップ 	【目的】 エアロビクスを日常運動に取り入れて、続けていくきっかけを作ります。健康づくりが主眼ですが、健康的に痩せることも目的です。 【内容】 エアロビクスを中心に体を動かします。ストレッチや腹筋運動等、家でもできる簡単な運動も指導します。	2月～3月 (5回)
ランプシェード 	【目的】 手作りのオリジナルランプシェードを作ってみましょう。 【内容】 和紙を使い、ランプシェードを作ります。灯りをともして部屋に飾ってみましょう。	2月 (1回)
音楽講座 	【目的】 音楽のすばらしさ、楽しさを学びます。今年は、ミュージックベルを予定しています。 【内容】 ミュージックベル（ハンドベル）をはじめてみましょう。ミュージックベルとは、本格的なイングリッシュハンドベルと比べて軽量で、より簡単に音を鳴らせる構造になっていますので、初心者の方、身体の不自由な方やお年寄りの方でも楽しめます。童謡など簡単な曲をベルで奏でて歌も交えながら楽しみましょう。初心者でも大丈夫です。	8月 (6回)
男の料理教室 	【目的】 男性が料理を学ぶことで、自分の食生活を考え、学んだことを生活に取り入れることができる講座です。また、一緒に作り一緒に食べることで、仲間づくりにも一役かいます。 【内容】 現在活動している「男の料理教室」の指導者による男性のみの料理教室です。月に1回、家庭料理を一緒に作り一緒に食べます。	4月～9月 10月～3月 (各6回)

横浜市大正地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
薬膳 	<p>【目的】 日常にある身近な薬膳の食材を学び、調理して食べます。身近なものを取り入れて、健康になります。</p> <p>【目的】 薬膳を生活に取り入れて、夏をのりきる。身近な手に入りやすい食材を使い料理を学びます。</p>	6月～8月 (3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
水彩画 	<p>【目的】 水彩画をはじめてみましょう。陰影のつけ方等を先生から学んでみましょう。</p> <p>【内容】 筆のおき方、影のつけ方等で絵の印象は決まります。先生に習って自分で描いてみましょう。初心者でも参加可です。</p>	9月 (3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスのお菓子 	<p>【目的】 クリスマスのお菓子を手作りでののしみましょう。</p> <p>【内容】 毎年違うケーキをつくります。今年は米粉のロールケーキをつくりました。今年は、クリスマスケーキを手作りでお祝いをしましょう！</p>	12月 (1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フランス料理 	<p>【目的】 フランス料理を習ってみましょう。おつまみや、お客様が来た時のおもてなしにも！</p> <p>【内容】 フレッシュな食材を使って、フレンチをならってみましょう。</p>	3月 (1回)

横浜市大正地区センター自主事業別計画書（単表）

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
トールペイント ～Welcomeボード～ 	【目的】 トールペイントでウェルカムボードを作ってみましょう。 【内容】 筆の使い方を先生からならってオリジナルのウェルカムボードを作ってみましょう。	8月 (1回)
和布でつくる つるし飾り 	【目的】 ちりめんを使って「つるし飾り」を作ります。家庭でも作れるので、毎年少しずつ数を増やす楽しみも感じていただきます。 【内容】 型紙は講師が用意致します。3～4種類のものを作る他、ちりめんのできるちょっとした飾りも紹介します。毎年参加すると、大きなつるし雛を作ることができます。	11月～12月 (3回)
シニアのレベル アップパソコン 	【目的】 高齢者が基本からパソコンを学ぶ講座です。 【内容】 パソコンの電源の入れ方からマウスの使い方、インターネットの体験や簡単な文字入力を行います。	6月・12月 (各4回*2回)
クラフトバンド講座 	【目的】 クラフトバンドを使ってかわいらしい小物入れやコースターを作ってみよう。 【内容】 クラフトバンドを使って、かわいいコースターやかごを作ってみる講座。上手になれば、かごバック等もできます。	4月 (1回)

横浜市大正地区センター自主事業別計画書 (単表)

団体名 公益社団法人とつか区民活動支援協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
庭木すっきり 剪定教室 	【目的】 庭木の剪定方法を学びます。地区センターの植栽を使用して実技を行います。 【内容】 庭木の種類ごとに選定の仕方を学びます。実際にセンターの植栽を使用して実技を学びます。	5月・9月 (各3回×2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サークル体験会 	【目的】 メンバー数の減少や高齢化などで活動が不活性化しているサークルが散見され、新たにサークルを立ち上げても翌年には約5割、翌々年度には約6割が活動を中止しています。サークル活動活性化を促進させる為に体験会を行います。 【内容】 自らの活動を紹介し、サークル会員を拡大し、活性化するためにサークルで体験会をします。	3月 (1回)

平成 29 年度第三者委託内容一覧

施設名 横浜市大正地区センター

NO	委託期間	委託内容	金額	業者名
1	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	消防設備保守点検	¥141,000	(株)東晃防災
2	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	エレベーター点検	¥389,000	ジャパソエレベーターサービス神奈川(株)
3	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	自動ドア点検	¥87,000	(株)トップランドコーポレーション
4	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	害虫駆除	¥44,000	(株)三共消毒
5	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	清掃	¥519,000	(株)横浜セイビ
6	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	設備総合巡視点検	¥1,089,000	(株)市川総業
7	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	機械警備	¥150,000	セコム(株)
8	H29. 4. 1～ H30. 3. 31	損害賠償責任保険	¥25,000	(株)コンチネンタル

平成29年度 「大正地区センター」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	32,192,000		32,192,000		32,192,000	横浜市より
利用料金収入	4,326,000		4,326,000		4,326,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	1,437,000		1,437,000		1,437,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	1,518,000	0	1,518,000	0	1,518,000	
印刷代	378,000		378,000		378,000	
自動販売機手数料	780,000		780,000		780,000	
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他（預金利子、カラオケ等）	360,000		360,000		360,000	
収入合計	39,473,000	0	39,473,000	0	39,473,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	21,604,000	0	21,604,000	0	21,604,000	
給与・賃金	19,580,000		19,580,000		19,580,000	
社会保険料	1,703,000		1,703,000		1,703,000	
通勤手当	321,000		321,000		321,000	
健康診断費	0		0		0	法人会計に計上
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	法人会計に計上
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	1,937,000	0	1,937,000	0	1,937,000	
旅費	16,000		16,000		16,000	
消耗品費	500,000		500,000		500,000	
会議賄い費	35,000		35,000		35,000	
印刷製本費	20,000		20,000		20,000	
通信費	400,000		400,000		400,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	25,000		25,000		25,000	
職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	596,000		596,000		596,000	印刷機、AED等
手数料	130,000		130,000		130,000	
地域協力費	0		0		0	法人会計に計上
事業費	2,530,000	0	2,530,000	0	2,530,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	2,530,000		2,530,000		2,530,000	
自主事業費	0		0		0	
管理費	7,439,000	0	7,439,000	0	7,439,000	
光熱水費	3,800,000	0	3,800,000	0	3,800,000	
電気料金	2,300,000		2,300,000		2,300,000	
ガス料金	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
水道料金	500,000		500,000		500,000	
清掃費	519,000		519,000		519,000	
修繕費	820,000		820,000		820,000	
機械警備費	150,000		150,000		150,000	
設備保全費	2,150,000	0	2,150,000	0	2,150,000	
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	141,000		141,000		141,000	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	44,000		44,000		44,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	1,965,000		1,965,000		1,965,000	
共益費	0		0		0	
公租公課	1,584,000	0	1,584,000	0	1,584,000	
事業所税			0		0	
消費税	1,584,000		1,584,000		1,584,000	
印紙税			0		0	
その他（法人税）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	2,937,000	0	2,937,000	0	2,937,000	
本部分	2,887,000		2,887,000		2,887,000	労務、会計、契約、人事等の管理運営費用
当該施設分	50,000		50,000		50,000	諸費
二一ズ対応費	1,442,000	0	1,442,000	0	1,442,000	
支出合計	39,473,000	0	39,473,000	0	39,473,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

目標設定・自己評価合体版

平成29年度大正地区センター自己評価表

目標設定の視点	計画内容	運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	1 地域特性、地域ニーズ				
	(1) スポーツモデル地区に指定された地域ニーズへの対応	バドミントン、卓球大会等 地域スポーツ団体とスポーツ共催事業を実施 延4回、150人参加			
	(2) 少子高齢化により、高齢者対象の事業に加え、子育て支援や放課後の居場所づくり、世代間交流事業を実施	おしゃべり広場等子育て支援事業(延90回、800人参加)、放課後の居場所づくり事業実施			
	(3) 区の中心地から離れているために行政関係・子育て・若者向けの情報を容易に入手できる環境の構築	分かりやすさを第一に館内の情報提供方法の工夫 ・子育て支援情報、 ・青少年健全育成コーナーの充実(配架資料、配架方法検討)			
	2 公の施設としての管理				
	(1) 特定の団体や個人が有利または不利にならないような平等・公平・公正な取扱	日常的に部屋予約・施設利用ルール of 徹底に留意。研修やOJTで職員・スタッフに徹底			
	(2) 常時、安全・安心・快適な施設環境の維持	日常の館内の見回り等で、施設の快適な環境維持に留意(不具合は日誌に記録)			
(3) 事業及び運営の公益性・健全性・透明性の確保	地域社会に開かれた事業、収支相償、積極的情報公開				

(4) 個人情報の保護・人権の尊重	日常的に利用者の個人情報格納場所の徹底、施錠等に留意。研修やOJTで徹底			
(5) 地域のニーズ及び社会的要請の把握及び利用者満足度の向上	意見箱・アンケートや運営委員会・利用者会議での意見・要望への対応			
(6) 帰宅困難者の一時滞在施設等災害時の対応	応急備蓄物資や防災備品の保管等			
(7) 情報公開、人権尊重、環境の配慮等横浜市の施策への協力	「9本市重要施策に対する取組」に記載			
3 利用者ニーズの把握と運営への反映				
(1) ご意見箱の常設及びアンケートの実施	アンケート1回/年実施・回答の掲示、ご意見箱常設			
(2) 頂いた意見等の回答の館内掲示や挨拶・声掛け等利用者とのコミュニケーションの充実	日常会話から得た意見も運営改善に反映、対応状況を掲示。変化に気が付いたときは声かけ等でコミュニケーションを図る。			
(3) 運営委員会・利用者会議の開催及び町内会自治会の行事等への参加	各2回/年間実施。連合町会内にて各種情報伝達			
(4) 日常的なお茶会である利用者井戸端会議の開催	1回/4半期実施。ニーズの把握、状況報告、要望への対応			
(5) 日曜・祝日の開館時間を午後6時まで1時間延長	年度当初から実施			
(6) 手続き迅速化のための受付システムの導入	年度当初から実施			
(7) 2か月先の予約状況を当日に情報提供	年度当初から実施			

(8) 用具保管スペースの整備	継続して、利用者倉庫貸出			
4 利用者サービス向上の取組				
(1) 自主事業の申込みを内容に応じインターネットでも可能	年度初めから実施、仕組みの改善			
(2) 図書の貸出し予約に向けて環境を整備し実施	年度当初から実施			
(3) 各部屋におけるインターネット環境の整備	現在部屋内が有線となっているが、更なる利便性向上に向けて無線接続検討（9月）			
(4) SNS を活用した話題提供	大正地区センターブログのコンテンツ充実（配信20件）/月以上）			
(5) サークルや講座指導者等のきめ細やかな最新情報を顔の見える関係で提供	年度当初から実施、内容の充実			
(6) 希望者への一斉メールによる事業の情報提供	7月から提供			
(7) 案内等の外国語表記・点字表記及び段差の解消	表示内容、設置場所等の検討			
(8) 高性能カラー印刷機の導入及び印刷代の値下げ、チラシ等の作成支援	利用料金は当面、据え置き予定だが、収支改善の観点から料金を検討する			
(9) 緊急時対応自動販売機への変更	年度当初から実施			
(10) 子育て中保護者の参加促進のために保育付き事業の充実	保育付自主事業を実施（2回/年）			
(11) 協会管理施設全体で利用者・区民が参加する公益事業の実施	地域の団体等を協働して実施			

	(12) 地域の活動団体との協働による子育て支援の情報提供	大正地区子育て連絡会に参加、情報共有化。 年度当初から実施			
業務運営	5 管理運営に必要な組織、人員体制				
	(1) 館長(常勤)1名、副館長(常勤)2名を配置	年度当初から配置			
	(2) スタッフ(非常勤)は14名でのローテーション勤務、その他日常清掃のため作業スタッフを毎日1名配置	年度当初から配置			
	(3) 原則として常勤者1名とスタッフ2名の最低3名が常時勤務	年度当初から実施			
	(4) 館長・副館長は開館30分前、閉館15分後までの勤務、スタッフは開館15分前からの勤務	年度当初から実施			
	(5) 日・祝日の開館延長にかかわる時間外労働勤務の解消のため変形労働時間制の導入	年度当初から実施			
	6 緊急時の体制と対応計画				
	(1) 消防・防災計画、危機管理マニュアル、緊急連絡網の作成	整備済、適宜見直し			
	(2) 隣接施設との年2回の合同防災訓練及び救命講習	4月、3月実施			
	(3) 応急備蓄物資や防災備品の保管	年度当初から保管			
	(4) 日常的に館内巡視を実施、防犯・防火の注意事項の掲示	年度当初から日常的に実施			
	(5) 防犯カメラの設置	入り口に防犯カメラの設置を検討			
	(6) 非常通報装置及び閉館時の機械警備の導入	年度当初から導入			
	7 設置理念を実現する運営内容				
(1) 乳幼児から高齢者まで幅広い層の地域住民が誰でも気軽に利用できる施設の運営	バリアフリー環境の整備 (案内の多国籍表記、危険				

		個所の排除（注意喚起）			
	(2) 地域や時代のニーズ、社会的要請などに即した多彩な事業の展開	子育て支援事業（おしゃべり広場）、学習支援事業実施			
	(3) 地域住民が自主的に活動を行うための支援やきっかけづくり	高性能カラー印刷機の利用 料金は当面、据え置き予定だが、収支改善の観点から料金を検討する サークル体験会開催（1回）			
	(4) 地域や地域住民が抱える課題解決のための支援	子育て支援情報の充実、子育て支援事業開催、センター備品の貸出（適宜）、青少年健全育成に関して中間支援組織とのネットワークづくり			
	(5) 地域住民や地域の様々なリソースと連携した事業の実施及びネットワークづくり	大学ボランティアサークルや青指との連携による子育てや小学生向け自主事業開催、大正地区子育て連絡会での子育てネットワークづくり			
	8 利用促進策				
	(1) 施設利用状況分析による施設の有効活用				
	①利用の少ない時間帯情報を利用頻度の低いサークルに提供するなど稼働状況の情報提供	曜日別、時間帯別、部屋別の稼働率を提供し、稼働の平準化と稼働率向上を目指す			
	②夜間等部屋利用が低い時間帯にニーズに即した魅力ある自主事業を実施	ハンドベル、競技けん玉、リトミック（増員）、書道（増員）、エアロビ（増員）、トールペイント、ヴォーカル			

		レッスンなど		
	(2) 子育て支援や困難を抱える青少年への支援、担い手の要請等社会的要請や時宜に適った自主事業等の展開	学習支援等の自主事業実施 中間支援組織とのネットワーク作り 延5回、50人参加		
	(3) 利用しやすい環境の整備			
	① 保育付き事業や夜間・日・祝日の事業の充実	保育付自主事業を実施 延2回、20人参加		
	② サークル体験会の開催	年1回実施予定		
	③ 日常的に気軽に集える利用者井戸端会議の開催	1回/4半期実施、4回		
	(4) 地域の教育機関や各種団体等との連携強化			
	① 近隣の学校、青少年指導員、団体等と連携した放課後の充実、青少年の居場所づくり・健全育成事業の実施	大正中学校区地域協働事業へ参画、ボランティアサークルによる放課後の小学生の居場所提供、青少年情報コーナーの充実(配架資料、配架方法などの工夫)		
	(5) PR・広報の充実			
	① 広範囲の自治会町内会にチラシの回覧や配付を依頼併せて自治会未加入マンションへのチラシ等配付	連合町内会に年間12回配布・約1,400部/回 全町内会対象		
	② 自主事業のお知らせ等を希望者に一斉メール配信	7月から実施		
	③ SNSを活用した情報提供	大正地区センターブログのコンテンツ充実(配信20件)/月以上) メルマガ発行予定		
	④ 協会全体で施設や事業等を周知するための参加型イベント	地域と連携して公益的事業		

	トを区民対象に開催	を実施予定		
	9 本市重要施策に対する取組			
	(1) 情報公開			
	① 情報公開規程に基づく適正な情報の公開	公開請求に基づき適切に対応		
	② HP での事業計画、事業報告、第三者評価等の情報提供	適宜、適切に HP に掲載		
	③ チラシやセンターだよりの町内会回覧や他施設への配架	連合町内会に 1 2 回/年配布・回覧、約 1, 4 0 0 部配布		
	(2) 人権尊重			
	① 地区センター・公会堂での人権研修の実施	年 1 回館長を講師として実施		
	② 区の主催の人権研修への全職員・スタッフの参加	順次参加する		
	③ 館内外の案内表示の外国語表記・点字表記	表示内容、設置場所等の検討		
	④ 指定管理者として可能な範囲での施設のバリアフリー化	案内表示の多国籍表記 段差解消（注意書き）		
	(3) 市内中小企業優先発注			
	① 市内中小企業特に地元企業への優先発注	年度当初から実施		
	② 透明かつ適正な競争及び契約の適正な履行の確保	適宜、入札・見積もり合わせ・業者選定委員会の開催		
	(4) 環境への配慮			
	① ごみの減量化・分別の徹底・ゴミゼロルート回収の活用	日常的な実施内容、ルート回収は年度当初から実施		
	② 節電・節水・消耗品の無駄のない使用の推進	光熱水費、5%減 消耗品費、5%減		

	(5) 子育て支援、子ども・若者の育成			
	① 子育て支援事業を地域の団体や保育園と連携した積極的な展開	子育て支援事業（おしゃべり広場）で近隣の保育園と連携してミニ講座開催 延2回、30人参加		
	② 放課後キッズクラブ等と連携した放課後の居場所の充実	ボランティアサークル（学生、近隣の住民など）と放課後に子供が遊べる場を提供 延6回、50人参加		
	③ 地域と連携した体験やスポーツ、学習を通じた健全育成事業の実施	地域のスポーツ団体・ボランティアを講師として、小学生～青少年向け（定期的）スポーツ自主事業を実施		
	④ 困難を抱えた子ども・若者への学習支援や居場所の提供等青少年を育む取組を地域全体で実施	ボランティアグループによる学習支援、大正中学区地域協働事業を通して、青少年を育む地域の活動に参加		
10 サークル・地域活動が活性化するための事業提案				
	(1) サークル活動や講座指導者等の最新のきめ細かなで信頼できる情報を顔の見える関係で提供	年度当初から実施 新規10件提供		
	(2) 利用者負担の軽減、印刷媒体のカラー化の推進のため印刷コストが低く高速高性能なカラー印刷機を導入	利用料金は当面、据え置き の予定だが、収支改善の観点から料金を検討する		
	(3) 各部屋でインターネットが使える環境の整備併せてホームページ作成講座の実施	インターネットの部屋貸しは無線化を検討 シニア向けパソコン講座は、Excelを実施		
	(4) 自らの活動を紹介し、サークル会員を拡大し活性化するためのサークル体験会の開催	年1回実施予定		

(5) 展示用パネルや椅子机などの備品を地域の活動団体から要請があった場合に支障のない範囲で無償貸出し	要請に応じて適宜			
1 1 自主事業計画				
(1) 地域の活力づくり支援事業の展開				
①センターまつりの改善（12月）	大正フェスタと独立して実施。従来、同時開催では実施困難だった事業の実施（6月：計画立案）			
②地域で活動中の高齢者団体と連携した地域活性化事業・生涯学習支援事業の実施	男の料理教室、ロビーコンサートなど地元活動中の高齢者団体との連携による自主事業実施			
③スポーツ推進員や青少年指導員、高齢者講師による世代間交流事業の実施	青少年指導員との共催自主事業開催（工作、ゲーム会） 延2回、30人参加 放課後の見守り隊の要請			
④平成32年開催の東京オリンピック・パラリンピック関連事業の開催	海外の文化・風習などを理解する事業やパラリンピック協会が提供する教材を活用した事業を実施予定			
(2) 講座終了後に自主的サークルの設立が期待できる事業の実施	ハンドベル、競技けん玉、リトミック（増員）、書道（増員）、エアロビ（造五bン）、トールペイント、ヴォーカルレッスンなど			
(3) 子育て支援の充実				
①育児不安の解消や保護者同士の交流のための子育て支援事業を地域の保育園や支援機関等と連携して実施	大正地区子育て連絡会との連携、子育て支援事業「おしゃべりひろば」の中で保護者同士の交流実施			

②保育付き事業や親子で参加できる事業の充実	保育付自主事業を実施（延2回、20人参加）			
③子育て支援事業「おしゃべりひろば」の開催	2回/週（月、水）、うち1回/月はミニ講座、述べ800組、年度当初から実施			
④地域の活動団体との協働による子育て支援の情報発信機能の整備	大正地区子育て連絡会との連携で、各種情報発信、年度当初から実施			
(4) 自然豊かで安全に過ごすための取組				
①美しい環境を未来に引き継ぐための講座の実施	自然観察会、にじみ絵など自然共育舎等の自然塾と連携した自主事業を実施 延2回、30人参加			
②自然災害への備えや悪徳商法等から身を守るための講座の開催	老前整理等の自主事業 延1回、20人参加			
(5) 協会全体での取組				
①当協会管理の施設全体で区民との交流、生涯学習の成果発表等を目的に公益事業を開催	地域の団体等と協働して実施			
(6) 青少年健全育成への取組				
①「大正生の心を育てる会」及び「大正中学校区学校・家庭・地域協働事業」への参画	館内での声掛け、朝の挨拶、授業参観等			
②学校・自治会・警察との連携による課題発生時の体制の確立	年度当初から確立			
③試験時季に部屋利用の少ない時間帯を勉強室として開放	会議室をセンター試験・国家試験開催時等に勉強スペースとして開放（適宜）			
④地域の協力のもと学習支援の実施	ボランティア団体、地域のボランティアの協力を得て、学習支援・放課後の見守りを実施			

	⑤学校関連、就職情報、資格取得等青少年向けの各種情報が容易に入手できる青少年向け情報コーナーの設置	延10回、50人参加 情報コーナーの充実（配架資料、方法の検討、自主事業実施）			
	⑥若者同士が気軽に話することができる談話スペースの設置	28年度当初から設置			
	⑦放課後キッズクラブ（はまっ子ふれあいスクール）と連携した放課後の居場所の充実	ボランティアサークル（学生など）と放課後に子供が遊べる場を提供			
	⑧青少年の話を傾聴する機能を整備し必要に応じて専門機関に繋ぐ仕組みの構築	29年度は仕組みの構築の検討、館内での声掛け運動実施			
	⑨青少年支援の担い手の養成講座の開設	傾聴スキル習得に関する自主事業を実施 延1回、10人参加			
	⑩キャリア教育の一環として就労体験を実施	職業体験受け入れ・コーディネート 延2回、10人参加			
	12 施設の維持管理計画				
	(1)建物・設備等の維持管理に必要な保守・点検・補修・清掃・植栽管理等を適宜適切に実施				
	①設備点検	仕様書に即した保守点検の実施			
	②補修	6月補修詳細計画の策定 早期発見・早期対応 日常的な見回りを実施			
	③清掃	仕様書に即した清掃の実施			
	13 個人情報保護等の体制と研修計画				
職員育成	(1)個人情報保護の体制				
	①館長が個人情報取扱責任者となり管理監督と研修を実施	4月実施・職員、スタッフ			

		全員参加			
	②個人情報取扱業務一覧を備え、個人情報の管理状況について常時把握	適宜実施			
	③職員・スタッフ採用時に個人情報の研修を実施、研修実施報告書及び個人情報に関する誓約書を市長に提出	4月実施			
	④館長は個人情報取扱の自主点検表に基づき定期的に点検を実施	定期点検実施 4月、9月 年2回			
	(2) 研修計画				
	①実務習得・接遇等利用者へのサービス向上につながる研修の実施	新規採用者実務研修・顧客満足研修等			
	②防災訓練等災害時や緊急時対応のための研修の実施	防災訓練・救命講習・防火 防災管理者研修等			
	③個人情報保護や人権啓発等の研修の実施	個人情報や人権に関する OJT や外部の複数回の研修			
	14 施設の維持管理計画（における効率化の工夫）				
	(1) 塗装・補修・清掃等を職員・スタッフが可能な範囲で即座に対応	館内清掃、排水溝清掃、網戸補修、低木の伐採など			
財務	15 収入計画の考え方				
	(1) 公益目的事業においては収支相償に基づき支出に見合った収入を確保	利用料金収入・事業収入・ 収益事業収入の予算額確保			
	(2) 収益事業の利益の50%以上を公益目的事業の収入に繰入	50%以上を繰入予定			
	(3) 自主事業のための助成金や企業協賛の確保及び公益法人の利点を生かした寄付金の募集	寄附金5万円 CSRによる親子クッキング等の自主事業を予定			
	(4) 協会全体で公益事業を実施するための事業資金を特定費用準備資金の積み立てにより確保	積立金の剰余を公益目的事業会計の繰越金に計上し計画的に支出			
	16 増収目標と増収策				
①利用料金収入の増収	毎年度3%増				

目標設定・自己評価合体版

平成29年度大正地区センター自己評価表

目標設定の視点	計画内容	運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	1 地域特性、地域ニーズ				
	(1) スポーツモデル地区に指定された地域ニーズへの対応	バドミントン、卓球大会等 地域スポーツ団体とスポーツ共催事業を実施 延4回、150人参加			
	(2) 少子高齢化により、高齢者対象の事業に加え、子育て支援や放課後の居場所づくり、世代間交流事業を実施	おしゃべり広場等子育て支援事業(延90回、800人参加)、放課後の居場所づくり事業実施			
	(3) 区の中心地から離れているために行政関係・子育て・若者向けの情報を容易に入手できる環境の構築	分かりやすさを第一に館内の情報提供方法の工夫 ・子育て支援情報、 ・青少年健全育成コーナーの充実(配架資料、配架方法検討)			
	2 公の施設としての管理				
	(1) 特定の団体や個人が有利か不利にならないような平等・公平・公正な取扱	日常的に部屋予約・施設利用ルールの徹底に留意。研修やOJTで職員・スタッフに徹底			
	(2) 常時、安全・安心・快適な施設環境の維持	日常の館内の見回り等で、施設の快適な環境維持に留意(不具合は日誌に記録)			
(3) 事業及び運営の公益性・健全性・透明性の確保	地域社会に開かれた事業、収支相償、積極的情報公開				

(4) 個人情報の保護・人権の尊重	日常的に利用者の個人情報格納場所の徹底、施錠等に留意。研修やOJTで徹底			
(5) 地域のニーズ及び社会的要請の把握及び利用者満足度の向上	意見箱・アンケートや運営委員会・利用者会議での意見・要望への対応			
(6) 帰宅困難者の一時滞在施設等災害時の対応	応急備蓄物資や防災備品の保管等			
(7) 情報公開、人権尊重、環境の配慮等横浜市の施策への協力	「9本市重要施策に対する取組」に記載			
3 利用者ニーズの把握と運営への反映				
(1) ご意見箱の常設及びアンケートの実施	アンケート1回/年実施・回答の掲示、ご意見箱常設			
(2) 頂いた意見等の回答の館内掲示や挨拶・声掛け等利用者とのコミュニケーションの充実	日常会話から得た意見も運営改善に反映、対応状況を掲示。変化に気が付いたときは声かけ等でコミュニケーションを図る。			
(3) 運営委員会・利用者会議の開催及び町内会自治会の行事等への参加	各2回/年間実施。連合町会内にて各種情報伝達			
(4) 日常的なお茶会である利用者井戸端会議の開催	1回/4半期実施。ニーズの把握、状況報告、要望への対応			
(5) 日曜・祝日の開館時間を午後6時まで1時間延長	年度当初から実施			
(6) 手続き迅速化のための受付システムの導入	年度当初から実施			
(7) 2か月先の予約状況を当日に情報提供	年度当初から実施			

(8) 用具保管スペースの整備	継続して、利用者倉庫貸出			
4 利用者サービス向上の取組				
(1) 自主事業の申込みを内容に応じインターネットでも可能	年度初めから実施、仕組みの改善			
(2) 図書の貸出し予約に向けて環境を整備し実施	年度当初から実施			
(3) 各部屋におけるインターネット環境の整備	現在部屋内が有線となっているが、更なる利便性向上に向けて無線接続検討（9月）			
(4) SNS を活用した話題提供	大正地区センターブログのコンテンツ充実（配信20件）/月以上）			
(5) サークルや講座指導者等のきめ細やかな最新情報を顔の見える関係で提供	年度当初から実施、内容の充実			
(6) 希望者への一斉メールによる事業の情報提供	7月から提供			
(7) 案内等の外国語表記・点字表記及び段差の解消	表示内容、設置場所等の検討			
(8) 高性能カラー印刷機の導入及び印刷代の値下げ、チラシ等の作成支援	利用料金は当面、据え置きが予定だが、収支改善の観点から料金を検討する			
(9) 緊急時対応自動販売機への変更	年度当初から実施			
(10) 子育て中保護者の参加促進のために保育付き事業の充実	保育付自主事業を実施（2回/年）			
(11) 協会管理施設全体で利用者・区民が参加する公益事業の実施	地域の団体等を協働して実施			

	(12) 地域の活動団体との協働による子育て支援の情報提供	大正地区子育て連絡会に参加、情報共有化。 年度当初から実施			
業務運営	5 管理運営に必要な組織、人員体制				
	(1) 館長(常勤)1名、副館長(常勤)2名を配置	年度当初から配置			
	(2) スタッフ(非常勤)は14名でのローテーション勤務、その他日常清掃のため作業スタッフを毎日1名配置	年度当初から配置			
	(3) 原則として常勤者1名とスタッフ2名の最低3名が常時勤務	年度当初から実施			
	(4) 館長・副館長は開館30分前、閉館15分後までの勤務、スタッフは開館15分前からの勤務	年度当初から実施			
	(5) 日・祝日の開館延長にかかわる時間外労働勤務の解消のため変形労働時間制の導入	年度当初から実施			
	6 緊急時の体制と対応計画				
	(1) 消防・防災計画、危機管理マニュアル、緊急連絡網の作成	整備済、適宜見直し			
	(2) 隣接施設との年2回の合同防災訓練及び救命講習	4月、3月実施			
	(3) 応急備蓄物資や防災備品の保管	年度当初から保管			
	(4) 日常的に館内巡視を実施、防犯・防火の注意事項の掲示	年度当初から日常的に実施			
	(5) 防犯カメラの設置	防犯カメラの設置を検討			
	(6) 非常通報装置及び閉館時の機械警備の導入	年度当初から導入			
	7 設置理念を実現する運営内容				
(1) 乳幼児から高齢者まで幅広い層の地域住民が誰でも気軽に利用できる施設の運営	バリアフリー環境の整備 (案内の多国籍表記、危険				

		個所の排除（注意喚起）			
	(2) 地域や時代のニーズ、社会的要請などに即した多彩な事業の展開	子育て支援事業（おしゃべり広場）、学習支援事業実施			
	(3) 地域住民が自主的に活動を行うための支援やきっかけづくり	高性能カラー印刷機の利用 料金は当面、据え置き予定だが、収支改善の観点から料金を検討する サークル体験会開催（1回）			
	(4) 地域や地域住民が抱える課題解決のための支援	子育て支援情報の充実、子育て支援事業開催、センター備品の貸出（適宜）、青少年健全育成に関して中間支援組織とのネットワークづくり			
	(5) 地域住民や地域の様々なリソースと連携した事業の実施及びネットワークづくり	大学ボランティアサークルや青指との連携による子育てや小学生向け自主事業開催、大正地区子育て連絡会での子育てネットワークづくり			
	8 利用促進策				
	(1) 施設利用状況分析による施設の有効活用				
	①利用の少ない時間帯情報を利用頻度の低いサークルに提供するなど稼働状況の情報提供	曜日別、時間帯別、部屋別の稼働率を提供し、稼働の平準化と稼働率向上を目指す			
	②夜間等部屋利用が低い時間帯にニーズに即した魅力ある自主事業を実施	ハンドベル、競技けん玉、リトミック（増員）、書道（増員）、エアロビ（増員）、トールペイント、ヴォーカル			

		レッスンなど		
	(2) 子育て支援や困難を抱える青少年への支援、担い手の要請等社会的要請や時宜に適った自主事業等の展開	学習支援等の自主事業実施 中間支援組織とのネットワーク作り 延5回、50人参加		
	(3) 利用しやすい環境の整備			
	① 保育付き事業や夜間・日・祝日の事業の充実	保育付自主事業を実施 延2回、20人参加		
	② サークル体験会の開催	年1回実施予定		
	③ 日常的に気軽に集える利用者井戸端会議の開催	1回/4半期実施、4回		
	(4) 地域の教育機関や各種団体等との連携強化			
	① 近隣の学校、青少年指導員、団体等と連携した放課後の充実、青少年の居場所づくり・健全育成事業の実施	大正中学校区地域協働事業へ参画、ボランティアサークルによる放課後の小学生の居場所提供、青少年情報コーナーの充実(配架資料、配架方法などの工夫)		
	(5) PR・広報の充実			
	① 広範囲の自治会町内会にチラシの回覧や配付を依頼併せて自治会未加入マンションへのチラシ等配付	連合町内会に年間12回配布・約1,400部/回 全町内会対象		
	② 自主事業のお知らせ等を希望者に一斉メール配信	7月から実施		
	③ SNSを活用した情報提供	大正地区センターブログのコンテンツ充実(配信20件)/月以上) メルマガ発行予定		
	④ 協会全体で施設や事業等を周知するための参加型イベント	地域と連携して公益的事業		

トを区民対象に開催	を実施予定			
9 本市重要施策に対する取組				
(1) 情報公開				
① 情報公開規程に基づく適正な情報の公開	公開請求に基づき適切に対応			
② HP での事業計画、事業報告、第三者評価等の情報提供	適宜、適切に HP に掲載			
③ チラシやセンターだよりの町内会回覧や他施設への配架	連合町内会に 1 2 回/年配布・回覧、約 1, 4 0 0 部配布			
(2) 人権尊重				
① 地区センター・公会堂での人権研修の実施	年 1 回館長を講師として実施			
② 区の主催の人権研修への全職員・スタッフの参加	順次参加する			
③ 館内外の案内表示の外国語表記・点字表記	表示内容、設置場所等の検討			
④ 指定管理者として可能な範囲での施設のバリアフリー化	案内表示の多国籍表記 段差解消（注意書き）			
(3) 市内中小企業優先発注				
① 市内中小企業特に地元企業への優先発注	年度当初から実施			
② 透明かつ適正な競争及び契約の適正な履行の確保	適宜、入札・見積もり合わせ・業者選定委員会の開催			
(4) 環境への配慮				
① ごみの減量化・分別の徹底・ゴミゼロルート回収の活用	日常的な実施内容、ルート回収は年度当初から実施			
② 節電・節水・消耗品の無駄のない使用の推進	光熱水費、5%減 消耗品費、5%減			

	(5) 子育て支援、子ども・若者の育成			
	① 子育て支援事業を地域の団体や保育園と連携した積極的な展開	子育て支援事業（おしゃべり広場）で近隣の保育園と連携してミニ講座開催 延2回、30人参加		
	② 放課後キッズクラブ等と連携した放課後の居場所の充実	ボランティアサークル（学生、近隣の住民など）と放課後に子供が遊べる場を提供 延6回、50人参加		
	③ 地域と連携した体験やスポーツ、学習を通じた健全育成事業の実施	地域のスポーツ団体・ボランティアを講師として、小学生～青少年向け（定期的）スポーツ自主事業を実施		
	④ 困難を抱えた子ども・若者への学習支援や居場所の提供等青少年を育む取組を地域全体で実施	ボランティアグループによる学習支援、大正中学区地域協働事業を通して、青少年を育む地域の活動に参加		
	10 サークル・地域活動が活性化するための事業提案			
	(1) サークル活動や講座指導者等の最新のきめ細かなで信頼できる情報を顔の見える関係で提供	年度当初から実施 新規10件提供		
	(2) 利用者負担の軽減、印刷媒体のカラー化の推進のため印刷コストが低く高速高性能なカラー印刷機を導入	利用料金は当面、据え置き の予定だが、収支改善の観点から料金を検討する		
	(3) 各部屋でインターネットが使える環境の整備併せてホームページ作成講座の実施	インターネットの部屋貸しは無線化を検討 シニア向けパソコン講座は、Excelを実施		
	(4) 自らの活動を紹介し、サークル会員を拡大し活性化するためのサークル体験会の開催	年1回実施予定		

(5) 展示用パネルや椅子机などの備品を地域の活動団体から要請があった場合に支障のない範囲で無償貸出し	要請に応じて適宜			
1 1 自主事業計画				
(1) 地域の活力づくり支援事業の展開				
①センターまつりの改善（12月）	大正フェスタと独立して実施。従来、同時開催では実施困難だった事業の実施（6月：計画立案）			
②地域で活動中の高齢者団体と連携した地域活性化事業・生涯学習支援事業の実施	男の料理教室、ロビーコンサートなど地元活動中の高齢者団体との連携による自主事業実施			
③スポーツ推進員や青少年指導員、高齢者講師による世代間交流事業の実施	青少年指導員との共催自主事業開催（工作、ゲーム会） 延2回、30人参加 放課後の見守り隊の要請			
④平成32年開催の東京オリンピック・パラリンピック関連事業の開催	海外の文化・風習などを理解する事業やパラリンピック協会が提供する教材を活用した事業を実施予定			
(2) 講座終了後に自主的サークルの設立が期待できる事業の実施	ハンドベル、競技けん玉、リトミック（増員）、書道（増員）、エアロビ（造五bン）、トールペイント、ヴォーカルレッスンなど			
(3) 子育て支援の充実				
①育児不安の解消や保護者同士の交流のための子育て支援事業を地域の保育園や支援機関等と連携して実施	大正地区子育て連絡会との連携、子育て支援事業「おしゃべりひろば」の中で保護者同士の交流実施			

②保育付き事業や親子で参加できる事業の充実	保育付自主事業を実施（延2回、20人参加）			
③子育て支援事業「おしゃべりひろば」の開催	2回/週（月、水）、うち1回/月はミニ講座、述べ80組、年度当初から実施			
④地域の活動団体との協働による子育て支援の情報発信機能の整備	大正地区子育て連絡会との連携で、各種情報発信、年度当初から実施			
(4) 自然豊かで安全に過ごすための取組				
①美しい環境を未来に引き継ぐための講座の実施	自然観察会、にじみ絵など自然共育舎等の自然塾と連携した自主事業を実施 延2回、30人参加			
②自然災害への備えや悪徳商法等から身を守るための講座の開催	老前整理等の自主事業 延1回、20人参加			
(5) 協会全体での取組				
①当協会管理の施設全体で区民との交流、生涯学習の成果発表等を目的に公益事業を開催	地域の団体等と協働して実施			
(6) 青少年健全育成への取組				
①「大正生の心を育てる会」及び「大正中学校区学校・家庭・地域協働事業」への参画	館内での声掛け、朝の挨拶、授業参観等			
②学校・自治会・警察との連携による課題発生時の体制の確立	年度当初から確立			
③試験時季に部屋利用の少ない時間帯を勉強室として開放	会議室をセンター試験・国家試験開催時等に勉強スペースとして開放（適宜）			
④地域の協力のもと学習支援の実施	ボランティア団体、地域のボランティアの協力を得て、学習支援・放課後の見守りを実施			

	⑤学校関連、就職情報、資格取得等青少年向けの各種情報が容易に入手できる青少年向け情報コーナーの設置	延10回、50人参加 情報コーナーの充実（配架資料、方法の検討、自主事業実施）			
	⑥若者同士が気軽に話することができる談話スペースの設置	28年度当初から設置			
	⑦放課後キッズクラブ（はまっ子ふれあいスクール）と連携した放課後の居場所の充実	ボランティアサークル（学生など）と放課後に子供が遊べる場を提供			
	⑧青少年の話を傾聴する機能を整備し必要に応じて専門機関に繋ぐ仕組みの構築	29年度は仕組みの構築の検討、館内での声掛け運動実施			
	⑨青少年支援の担い手の養成講座の開設	傾聴スキル習得に関する自主事業を実施 延1回、10人参加			
	⑩キャリア教育の一環として就労体験を実施	職業体験受け入れ・コーディネート 延2回、10人参加			
	12 施設の維持管理計画				
	(1)建物・設備等の維持管理に必要な保守・点検・補修・清掃・植栽管理等を適宜適切に実施				
	①設備点検	仕様書に即した保守点検の実施			
	②補修	6月補修詳細計画の策定 早期発見・早期対応 日常的な見回りを実施			
	③清掃	仕様書に即した清掃の実施			
	13 個人情報保護等の体制と研修計画				
職員育成	(1)個人情報保護の体制				
	①館長が個人情報取扱責任者となり管理監督と研修を実施	4月実施・職員、スタッフ			

		全員参加			
	②個人情報取扱業務一覧を備え、個人情報の管理状況について常時把握	適宜実施			
	③職員・スタッフ採用時に個人情報の研修を実施、研修実施報告書及び個人情報に関する誓約書を市長に提出	4月実施			
	④館長は個人情報取扱の自主点検表に基づき定期的に点検を実施	定期点検実施 4月、9月 年2回			
	(2) 研修計画				
	①実務習得・接遇等利用者へのサービス向上につながる研修の実施	新規採用者実務研修・顧客満足研修等			
	②防災訓練等災害時や緊急時対応のための研修の実施	防災訓練・救命講習・防火 防災管理者研修等			
	③個人情報保護や人権啓発等の研修の実施	個人情報や人権に関する OJT や外部の複数回の研修			
	14 施設の維持管理計画（における効率化の工夫）				
	(1) 塗装・補修・清掃等を職員・スタッフが可能な範囲で即座に対応	館内清掃、排水溝清掃、網戸補修、低木の伐採など			
財務	15 収入計画の考え方				
	(1) 公益目的事業においては収支相償に基づき支出に見合った収入を確保	利用料金収入・事業収入・ 収益事業収入の予算額確保			
	(2) 収益事業の利益の50%以上を公益目的事業の収入に繰入	50%以上を繰入予定			
	(3) 自主事業のための助成金や企業協賛の確保及び公益法人の利点を生かした寄付金の募集	寄附金5万円 CSRによる親子クッキング等の自主事業を予定			
	(4) 協会全体で公益事業を実施するための事業資金を特定費用準備資金の積み立てにより確保	積立金の剰余を公益目的事業会計の繰越金に計上し計画的に支出			
	16 増収目標と増収策				
①利用料金収入の増収	毎年度3%増				

		29年度は432万円を予算計上		
	ア 登録団体や地域の団体への利用勧奨や協働事業の実施の働きかけによる稼働率の向上	地域団体、教育機関への宣伝パンフレット配布 2回/年		
	イ 自主的サークルの設立が期待できる自主事業の展開による各部屋の稼働率の向上	・リトミック： 水曜日の分の増員 ・けん玉教室（5月） ・ニコニコベビーサークル ・ツールペイント		
	ウ 各部屋でインターネットの接続が可能となるように環境を整備	インターネットの部屋貸しは無線化を検討		
	エ 市の補助金交付団体との連携による子育て支援や青少年支援の積極的な展開	大正地区子育て連絡会の中で、ぽっぽの家、原宿ケアプラザ、保育園、ボランティアセンター等から自主事業講師派遣依頼 延2回、20人参加		
	オ 部屋の分割使用や当日申込みの1時間単位利用など柔軟な対応	要請に応じて、適宜対応		
	②自主事業収入の増収	143万円を予算計上		
	ア 参加者を増加させるために魅力ある自主事業の展開	新規事業比率50%以上		
	③雑収入の増収	151万円を予算計上		
	ア 寄附金・補助金・企業協賛の確保	寄付金収入5万円		
	イ 館内外の掲示やホームページのバナー等による広告収入の増収	広告掲載の可能性を検証		
	ウ 最新型高性能カラー印刷の導入・活用による印刷代収入の増収	印刷料金収入38万円を予算計上		

以下は区との協議により実施				
工駐車場の有料化 3時間30分で200円/台 20台分 年間100万円程度の増収	引き続き区と協議を継続			
17 支出計画				
(1) 特定規模電気事業者(新電力)からの電力部分供給により電気代を節減	4%減(新電力未導入時に比較して)			
(2) 節電・節水・省エネ器具への交換の推進、日頃の適切な清掃・メンテナンスによる効率的な運転を維持	蛍光灯のLED化、ファンコイルの定期清掃、空調音頭調節など			
(3) 1箇月単位の変形労働時間制により柔軟なシフトを組むことによる時間外労働の抑制	年間20万円の縮減			
(4) 最低賃金法や労働基準法などの法令を遵守した人件費の支出	適宜、賃金の見直し、時間外労働割増賃金の支払い			
(5) 大量購入や一括・長期発注、修繕箇所の早期発見・早期対応による経費の節減	見積による発注先選定、インターネットによる価格調査、巡回による修繕箇所の早期発見			
(6) 契約に際しての競争性の確保	適宜、入札・見積もり合わせ・業者選定委員会の開催			
(7) 自主事業の材料費・講師謝金・傷害保険料は参加者負担 子ども対象事業や青少年支援等はセンターが負担	センターが負担する子供向け自主事業数：3事業			
18 ニーズ対応費の使途				
(1) 物品の購入 体育室、プレイルームなどの利用者用備品 や消耗品の購入	卓球台、空気清浄機、卓球ネット、プレイルーム備品			
(2) 設備・物品の補修等 トイレの洋式化・シャワートイレ・音消し等の設置、畳・襖の張替等に使用	・部屋網戸修繕 ・体育室防虫網戸修繕			
(3) 施設整備 インターネット環境整備、案内等の外国語表記・点字表記、段差の解消等バリアフリー化に使用	・掲示板、玄関机、案内板など整備			
(4) 人件費 日曜・祝日の開館時間延長分のスタッフ人件	日祝スタッフ2名1時間分			

	費に充当 (5)事業費 地区センターまつりの開催や予算外の自主事業の開催にかかる経費に充当	に充当 夏祭り（8月）、センターま つり（12月）			
利用者等の意見	利用者等の意見の把握方法 利用者会議（2回/年）、アンケート（1回/年）、井戸端 会議（4回/年）、ご意見箱、日常会話	意見、要望に対する対応 アンケート、ご意見箱にはすべて回答、更に利用者の意見を聞く必要がある場合は、課題ごとの 委員会を設置して対応を協議する。			

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載